



市議会議員
上田由美子
☎ 68-2106
Fax 68-2146



参議院議員
井上さとし



前衆院議員
藤野保史

12月議会一般質問



上田由美子市議は12月議会一般質問で15日、675名の署名に答えて給食費無償化に踏み出そうと訴えました。

給食無償化に踏み出そう

【上田市議】小矢部市の小中学校の給食費を無償にすることを求める請願署名が、675名分集められ市長に提出されました。集めたのは、新日本婦人の会小矢部支部で、11月7日に市長に面会し手渡した。「小中学校の保護者負担を減らすこと、国に無償化を求めること」「学校給食に地元食材はもとより、有機農産物を使用し、子どもたちの健やかな成長を保障すること」を求めている。

署名を集める中で、「物価高で生活が苦しくなっている。給食費が無料になれば助かる」、「子育て世代にとって大切なことだ」などの声が聞かれたそうである。

全国でも、県内でも無償化の自治体が増えている

全国では、学校給食の無償化に踏み出す自治体が増えている。10月末時点で493自治体に達している。富山県でも、朝日町で小中学校の給食費が無料になり、上市町は2023年度無料である。今年11月に総合計画特別委員会で行った愛知県大府市でも、中学3年生の給食費を無料にすることになり、今年3学期から実施する予定であると聞いた。その理由として、中学3年生は高校進学に向けて費用がかかるので、

小矢部砺波ジャンクション内の草刈りを



市民から小矢部砺波ジャンクション内に草が繁茂しており、草刈りが必要だという声を聞き、11月11日現場を見に行きました。内部にある点検作業用道路に入ると、道路と敷地の間には金網があり、車の通行が妨げられる状態ではありませんが金網の中の敷地では草が生い茂り木に絡みつつき、森のような状態です。何らかの動物の棲みかとなっている可能性もあり、病害虫の発生も心配です。

このジャンクションは、能越自動車道、東海北陸自動車道、北陸自動車道が交差する場所であり、それぞれ富山県、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社が管理しています。そして、この中に小矢部市と砺波市の境界線があります。

県交渉で要望

11月16日に行われた、日本共産党富山県委員会から県への予算要望の際に、私は写真を添えて、小矢部砺波ジャンクション

保護者の負担を減らすことがあげられた。

今年7月、小矢部市は県に対し、学校給食費の無償化について、国等への働きかけ、県における財政支援を初めて要望した。これは大きな前進である。

しかし、国と県に先駆けて、市独自で給食費の一部補助を実施することはできないか。

小矢部市で学校給食費を無償にする費用はどれだけか。また、一人に月1千円を補助する費用はどれだけか。就学援助制度で支給される額は除いた金額を尋ねる。

【教育委員会事務局長】小矢部市の学校給食費は、年間約1億2、600万円であり、一人に月1、000円補助する費用は年間約800万円である。学校給食費の無償化は国の政策で進めていただきたい。

給食費に1人・月1千円補助 800万円あればできる

【上田市議】年間800万円なら市独自でもできるのではないかと。物価高騰に見合う賃上げは行われず、生活を切り詰めるなければならない家庭が大部分だ。

憲法第26条では、「義務教育は無償とする。」としている。来年度は補助の額を増やし、小矢部市で義務教育無償の一環として、給食費の無償化に一步近づく施策を実施することが、子育ての後押しになると考える。署名したみなさんの声を力に、これからも無償化を求めていく。



の草刈りを要望しました。県の担当者は、管理団体に伝えると答えました。

また、ジャンクションの中を流れる四ヶ村用水に枯草の塊が詰まり、流れをせき止めていました(写真)。小矢部市農林課に伝えたところ、小矢部市土地改良区に話をされ、枯草は取り除かれて用水の流れは回復しました(12月4日現在)。



今後、ジャンクション内の草刈りの実施を、県や国に働きかけていきます。(市議会議員・上田由美子)

政界川柳

荒川 翔平

裏金の仕方でも世襲で習ったか
更迭じゃ手ぬるい議員辞職しろ

